

議事要旨(5) 「上場会社の個別財務諸表の取扱い（連結先行の考え方）に関する検討会」  
での検討状況について

冒頭、西川委員長から、包括利益の表示を我が国会計基準への導入の検討を契機に、「上場会社の個別財務諸表の取扱い（連結先行の考え方）に関する検討会」が設けられた旨の説明がなされた。引き続き、小賀坂主席研究員より、平成22年6月8日に開催された企業会計審議会における報告資料をもって委員会での報告に代えたい旨、及び企業会計審議会での審議中における委員会での基準開発の対応について説明がなされ、質疑応答が行われた。

- ・ ある委員から、資料の一部に誤解を招くおそれのある表現が見受けられるため、見直すことはできないかという質問があった。これに対して事務局より、企業会計審議会の報告資料はすでに金融庁のホームページに掲載されており、委員会の報告資料も同じものとしたいため、資料の修正は差し控えたい旨の回答があった。
- ・ ある委員から、企業会計審議会での審議中に個々のテーマについて委員会で議決を行う場合、個別財務諸表の取扱いについては判断を留保する方向で議論すると報告資料に記載されているが、審議中とはいつまでなのかについてコンセンサスを得たいという発言があった。これに対して事務局より、企業会計審議会の審議次第なので当委員会において終了時期などを明確にすることは難しいものの、連結先行（ダイナミック・アプローチ）に関連する取扱いの審議期間を示している旨の回答があった。また、別の複数の委員からも、同様の理解である旨の発言があった。

以 上